

1. 消化器内科

部長 宮原 直樹

消化器内科では 2023 年度より血管内治療科のご協力を頂き IVR（特に肝臓に対する血管造影治療やラジオ波焼却療法）も行えるようになりました。今後件数を増やしていきたいと考えております。

なお診療体制に関しては 2023 年度より常勤二人体制となっておりましたが、2025 年度より再び一人体制となる見込みです。マンパワー不足は如何ともしがたく、特に緊急対応においてはご期待に沿えないこともあるかもしれませんが、消化器領域の診療に関して力の及ぶ範囲で一通り対応していきたいと考えております。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	宮原 直樹	2006.4.1 ~	常勤	筑波大学	1993 年
医員	重光 章鈞	2023.4.1 ~	常勤	筑波大学	2018 年
	千葉 俊也	1996.9.1 ~	非常勤	筑波大学	1986 年
	岡野 直樹	2002.6.3 ~	非常勤	東邦大学	1994 年
	柿崎 丈郎	2022.4.7 ~	非常勤	東京医科大学	2016 年
	中川 俊一郎	2023.4.4 ~	非常勤	東京医科大学	2018 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
C型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	1
B型肝炎-肝硬変に対する経口ウイルス治療薬投与	29
肝臓に対する肝動脈塞栓術（動注化学療法を含む）	4
肝臓に対するラジオ波焼灼療法	3
消化器癌（肝臓以外）化学療法	20

○研究実績

<学会（研究会）発表>

宮原 直樹

第 38 回 県南・県西肝疾患研究会 コメンテーター

2024 年 2 月 21 日

2. 糖尿代謝内科

部長 河邊 聡子

外来患者数は茨城県ではトップとなっており、合併症を有する多様な患者診療に対応しています。病棟診療においては人員不足ではありますが、ご紹介いただいた重症患者については最大限に対応しております。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	河邊 聡子	2007.4.1 ~	常勤	筑波大学	1997 年
医長	尾本 美代子	2013.4.2 ~	常勤	弘前大学	2006 年
	富沢 浩子	1993.3.5 ~	非常勤	秋田大学	1982 年
	岩崎 祐子	2011.4.7 ~	非常勤	筑波大学	1999 年
	丸島 径子	2013.10.3 ~	非常勤	東京女子医科大学	1999 年
	宜保 英彦	2020.4.1 ~	非常勤	昭和大学	2007 年
	山口 純輝	2023.4.8 ~	非常勤	東海大学	2014 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
糖尿病教育入院	123

3. 血液内科・総合診療科

副院長 兼 血液内科部長 瀬口 雅人

血液内科の分野では免疫療法である CAR（キメラ抗原受容体）-T 細胞療法や二重特異性抗体製剤が悪性リンパ腫や多発性骨髄腫で使用可能となり、難治性の患者さんの治療選択肢が広がってきました。CAR-T 療法は施設基準が定められていて、一部の大学病院やがんセンターでしか行えませんが、二重特異性抗体製剤であるエプコリタマブやエルラナタナブは当院でも使用可能で、今年初めて何人かの患者さんで治療経験もしました。今までにない切れ味で大変効果を実感できる薬剤です。日々進歩していく新しい治療に取り残されないようスタッフ一同頑張っていく所存です。

○診療体制

血液内科

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
副院長兼部長	瀬口 雅人	2006.10.1 ～	常勤	山口大学	1985 年
医長	本多 伸一郎	2021.7.1 ～	常勤	長崎大学	1992 年
	丸山 ゆみ子	2017.4.3 ～	非常勤	札幌医科大学	2002 年
	末原 泰人	2019.4.5 ～	非常勤	琉球大学	2011 年
	槇島 健一	2019.10.5 ～ 2024.3.23	非常勤	筑波大学	2014 年
	服部 圭一朗	2021.1.9 ～	非常勤	東京医科歯科大学	2008 年
	松村 文明	2022.4.8 ～	非常勤	筑波大学	2016 年

総合診療科

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
医員	瀬尾 修平	2022.9.1 ～	常勤	日本医科大学	2020 年
医員	小野瀬 耕	2023.4.1 ～ 2024.3.31	常勤	筑波大学	2021 年
医員	後藤 颯太	2023.4.1 ～ 2023.9.30	常勤	日本大学	2021 年
医員	松本 めぐみ	2024.1.1 ～ 2024.3.31	常勤	山形大学	2021 年
	藪内 沙耶香	2024.2.2 ～	非常勤	東京医科歯科大学	2021 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
血液内科領域（新規入院患者のみ 重複は除く）	
悪性リンパ腫	56
骨髄異型性症候群	17
多発性骨髄腫	21
急性骨髄性白血病	19
急性リンパ性白血病	2
自己免疫性溶血性貧血	4
特発性血小板減少性紫斑病	9
慢性骨髄性白血病	2
その他骨髄増殖性腫瘍	5
後天性血友病	1
重症再生不良性貧血	4
赤芽球ろう	3

4. 腎臓内科

副院長 兼 腎臓内科部長 兼 透析センター長 石津 隆

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
副院長兼センター長	石津 隆	2020.4.1 ~	常勤	筑波大学	1989 年
部長	楊川 堯基	2020.9.1 ~	常勤	筑波大学	1990 年
医長	樋口 貴士	2020.6.1 ~ 2023.5.31	常勤	藤田保健衛生大学	2009 年
医長	松永 恒明	2020.10.1 ~	常勤	筑波大学	1998 年
医員	石井 知子	2022.10.1 ~	常勤	富山大学	2012 年
	新田 孝作	2019.4.5 ~	非常勤	福島県立医科大学	1981 年
	山口 直人	2005.4.16 ~ 2023.9.2	非常勤	筑波大学	1983 年
	間瀬 かおり	2020.7.3 ~	非常勤	筑波大学	1991 年
	中澤 和人	2023.4.5 ~ 2023.9.27	非常勤	筑波大学	2020 年
	高柳 ひかり	2023.10.3 ~	非常勤	筑波大学	2017 年
	黒河 周	2023.10.4 ~ 2024.3.27	非常勤	筑波大学	2021 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
新規血液透析導入患者数	48 名
糖尿病性腎症	28 名
急性血液浄化療法施行	
二重濾過血漿交換（DFPP）	7 回
直接血液還流（DHP）	4 回
限外濾過（ECUM）	3 回
血球成分除去療法（G-CAP）	15 回
血液濾過透析（HDF）	2 回
血漿交換（PE）	2 回
血液吸着（レオカーナ）	37 回
持続血液濾過透析（CHDF）	62 回
血液透析（HD）	18,686 回
転入血液透析患者数	8 件
転出血液透析患者数	22 件
腎移植施行血液透析患者数	0 名
内シャント関連手術件数	78 件
内シャント P T A (経皮的血管拡張術)	114 件

5. 呼吸器内科

部長 金本 幸司

呼吸器内科では 2023 年度も常勤医師 1 名体制で下記のような検査, 治療, 入院患者対応を行った。
今後も可能な範囲で地域の先生方からのご紹介に対応する方針である。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	金本 幸司	2022.4.1 ~	常勤	山形大学	1996 年
	来生 研	2004.5.7 ~	非常勤	東京医科大学	1996 年
	中嶋 英治(呼吸器外科)	2023.4.5 ~	非常勤	東京医科大学	1994 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
【主な検査・治療】	
気管支鏡検査	55
CT ガイド下生検	1
胸腔ドレナージ	21
胸膜癒着療法	10
初回肺癌薬物療法導入	10
喘息生物学的製剤導入	3
侵襲的陽圧換気療法	0
非侵襲的陽圧換気療法	10
高流量鼻カニューラ療法	6
在宅酸素療法導入	3
在宅 CPAP/NPPV 導入	0
【入院患者の主病名】	
肺炎・胸膜炎	47
肺癌	45
気管支鏡検査目的	38
間質性肺疾患	19
COVID-19	19
気管支喘息	11
慢性閉塞性肺疾患	8
抗酸菌感染症	3
気胸	3
その他	24
計	217

○研究実績

※氏名記述 共同研究に他施設所属者が入っている場合、当院所属者にアンダーラインを付しております。

<講演会>

金本 幸司（演者）

進みゆく非小細胞肺癌の個別化医療

コンパニオン診断セミナー in IBARAKI 2023 2023 年 9 月 2 日

金本 幸司（座長）

実地臨床に潜む COPD 患者への新たな治療提案（演者：筑波大学医学医療系呼吸器内科 増子裕典）

県南 COPD セミナー in 牛久 2023 2023 年 11 月 16 日

金本 幸司（演者）

症例から学ぶ呼吸器診療

牛久市医師会学術講演会 2023 年 11 月 21 日

金本 幸司（座長）

IV期 NSCLC における治療の現状（演者：龍ヶ崎済生会病院呼吸器内科 宮崎邦彦）

県南 Regional Lung Cancer Seminar 2024 年 2 月 29 日

6. 循環器内科

主任部長 藤縄 学

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
主任部長	藤縄 学	2008.4.1 ~	常勤	東京医科大学	1996 年
部長	飯野 均	2005.4.1 ~	常勤	東京医科大学	1991 年
部長	山崎 明	2001.4.1 ~	常勤	筑波大学	1995 年
医長	武島 宏	2019.4.1 ~	常勤	獨協医科大学	2006 年
医長	打越 裕之	2010.4.1 ~	常勤	金沢医科大学	2008 年
医員	原 弥生	2023.4.1 ~	常勤	東京女子医科大学	2012 年
	青沼 和隆	2017.4.18 ~	非常勤	山口大学	1977 年
	河野 了	2000.8.19 ~	非常勤	筑波大学	1988 年
	仲野 晃司	2023.4.6 ~ 2023.9.28	非常勤	新潟大学	2015 年
	中務 智文	2023.10.5 ~ 2024.3.28	非常勤	筑波大学	2011 年
心臓血管外科	大阪 基男	2017.4.12 ~	非常勤	筑波大学	1992 年
心臓血管外科	加藤 秀之	2018.4.4 ~	非常勤	筑波大学	2002 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
心臓MR I	93
冠動脈C T	197
冠動脈M R A	97
心臓カテーテル検査	216
経皮的冠動脈形成術	30
経皮的冠動脈ステント留置術	102
恒久的ペースメーカー植込術	25
ジェネレーター交換	8
体外ペースメーカーリング術	12
四肢の血管拡張術・血栓除去術	2
上腕動脈表在化法	1

○研究実績

<講演会>

藤縄 学

高血圧フォーラム Special Lecture 座長（つくば国際会議場、WEB）

大塚製薬株式会社/ノバルティスファーマ株式会社/牛久市医師会

2023 年 3 月 21 日

武島 宏

牛久愛和地域連携講演会「当院の心不全に対する ARMI の使用経験」（牛久愛和総合病院）

大塚製薬株式会社/ノバルティスファーマ株式会社/牛久市医師会

2023 年 8 月 31 日

藤縄 学

牛久市中心疾患連携の会（WEB）

「抗血栓療法 of 細菌の話題～その抗血栓薬休薬できますか？～」

一般社団法人茨城県保険医協会/第一三協株式会社

2024 年 2 月 29 日

武島 宏

牛久市中心疾患連携の会（WEB）

「当院における心不全地域連携への取り組み」

一般社団法人茨城県保険医協会/第一三協株式会社

2024 年 2 月 29 日

藤縄 学

第 7 回茨城県心臓画像研究会 特別講演座長（ホテル日航つくば）

2024 年 3 月 23 日

7. 脳神経内科

部長 中嶋 秀樹

脳神経内科では、2023 年度は常勤医 2 名、非常勤医 2 名で診療を行っています。地域の高齢化を反映し、パーキンソン病、認知症、筋萎縮性側索硬化症などの変性疾患に加え、てんかん、脳卒中などの common disease はもちろん、重症筋無力症などの神経免疫疾患も増えつつあります。地域医療に貢献するため、2023 年 12 月に承認されたアルツハイマー型認知症に対するアミロイド β 抗体療法の準備も整っております。

また、同年度から内科専攻医プログラムが始まり、研修医はもちろん、専攻医も含めた若手教育にも力を注ぎ、牛久発の専門医を育てているところです。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	中嶋 秀樹	2021.4.1 ~	常勤	長崎大学	2005 年
医員	吉田 まき子	2023.4.1 ~	常勤	鹿児島大学	2014 年
	吉田 佐好子	2014.1.9 ~	非常勤	佐賀医科大学	1993 年
	奥根 洋	2019.4.5 ~ 2023.9.29	非常勤	高知大学	2013 年
	猪狩 弘大	2023.10.2 ~	非常勤	筑波大学	2019 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数	
1 診療患者数	外来	入院
1)脳血管障害		
(1) 脳卒中		
①脳梗塞	98	64
②脳出血	22	8
③くも膜下出血	0	2
④動静脈奇形	0	1
(2) 一過性脳虚血発作	6	8
(3) その他	—	—
2)神経変性疾患		
(1) パーキンソン症候群		
①パーキンソン病	62	25
②多系統萎縮症	2	6
③進行性核上性麻痺	4	2
④大脳皮質基底核変性症	0	1
⑤脊髄小脳変性症	3	2
⑥血管性パーキンソンニズム	0	0

疾病・術式・検査	外来	入院
⑦薬剤性パーキンソニズム	0	0
(2)認知症		
①アルツハイマー型認知症/アルツハイマー病	143	14
②レビー小体型認知症	3	0
③血管性認知症	0	4
④前頭側頭型認知症	0	0
⑤水頭症	4	1
⑥その他の認知症	70	7
(3)運動ニューロン疾患		
①筋萎縮性側索硬化症	5	6
②球脊髄性筋萎縮症	1	0
3)腫瘍	15	10
4)先天奇形	0	0
5)頭部外傷		
(1)急性硬膜外血腫	0	0
(2)急性硬膜下血腫	2	0
(3)慢性硬膜下血腫	1	2
(4)頭蓋骨骨折	0	1
(5)脳挫傷	1	0
(6)脳震盪	0	0
(7)その他	2	1
6)脱髄疾患		
(1)中枢神経系		
①多発性硬化症	6	5
②視神経脊髄炎	5	2
③急性散在性脳脊髄炎	0	0
④MOG 抗体関連疾患	0	0
(2)末梢神経		
①Guillain-Barré 症候群	3	3
②Fisher 症候群	0	0
③慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	0	0
④多巣性運動ニューロパチー	3	0
7)代謝性疾患	0	2
8)中毒性疾患	0	0
9)末梢神経障害（脱髄以外）		
(1)単神経炎	2	0

疾病・術式・検査	入院	外来
(2) 顔面神経麻痺	1	5
(3) 糖尿病性ニューロパチー	2	0
(4) その他	9	0
10)感染症		
(1) Creutzfeldt-Jakob 病	0	0
(2) AIDS	0	0
(3) 単純ヘルペス脳炎	1	4
(4) 髄膜炎		
①ウイルス性	0	1
②細菌性	0	0
③その他	1	2
(5) 梅毒	75	49
(6) 誤嚥性肺炎	4	20
(7) 尿路感染症	9	13
(8) 胆道系感染症	0	0
(9) COVID-19	28	125
(10)その他	28	7
11)筋肉疾患		
(1) 筋ジストロフィー		
①遠位型ミオパチー	0	0
②その他	0	0
(2) 筋強直症候群		
①筋強直性ジストロフィー	0	0
(3) 周期性四肢麻痺	0	0
(4) 甲状腺疾患に関するミオパチー	0	0
(5) ミトコンドリア病	1	0
(6) 多発筋炎/皮膚筋炎	6	3
(7) リウマチ性多発筋痛症	0	0
(8) 重症筋無力症	19	9
(9) その他	4	1
12)機能性疾患		
(1) 頭痛		
①片頭痛	34	4
②緊張型頭痛	1	0
③群発頭痛	1	0
④その他	17	1

疾病・術式・検査	入院	外来
(2)神経痛		
①後頭神経痛	0	0
②三叉神経痛	7	0
③顔面神経痛	0	0
④肋間神経痛	0	0
⑤その他	1	0
(3)自律神経障害		
①神経調節性失神	0	0
②その他	20	3
(4)てんかん	57	31
13)全身疾患に伴う神経障害		
(1) 亜急性性連合性脊髄変性症	0	0
(2) 橋中心髄鞘崩壊	0	1
(3) 悪性腫瘍に伴う神経障害	0	0
(4) サルコイドーシス	2	1
(5) 中毒に伴う神経障害		
①アルコール中毒	0	0
②低酸素脳症	0	1
③肝性脳症	2	1
④尿毒症性脳症	0	0
⑤CO2 ナルコーシス	0	1
⑥薬物中毒	0	1
(6) 糖尿病に伴う神経障害	2	1
(7) 膠原病に伴う神経障害	167	22
(8) 血液疾患に伴う神経障害	53	8
(9) 悪性症候群	0	0
14)精神疾患	60	14
2 検査件数		
1)画像		
(1) MRI		
①頭部	424	
②脊椎	69	
③その他	22	
(1) CT		
①頭蓋内血管造影 CT	9	
②その他	234	

疾病・術式・検査	入院外来
2)生理検査	
①伝導速度検査	44
②針筋電図	6
③反復刺激試験	5
④脳波	127
3) 超音波検査	
(1)頸部血管超音波	66
(2)経食道心臓超音波	9
(3)下肢静脈超音波	27
4)腰椎穿刺	39

○研究実績

<講演会>

中嶋 秀樹

MS Online Clinical Conference 症例提示

Case presentation II 「脳梗塞として加療され再発コントロール不良であった多発性硬化症の1例」症例提示

ノバルティス ファーマ株式会社（船橋市, 新潟市, 大宮市, 宇都宮市, 牛久市, web）2023 年 5 月 11 日

中嶋 秀樹

「片頭痛治療 Management Seminar ～地域で片頭痛を診る～」座長

牛久市医師会, 大塚製薬株式会社（つくば市, web）2023 年 5 月 22 日

中嶋 秀樹

第 34 回茨城神経疾患カンファレンス 座長

住友ファーマ株式会社（つくば市, web）2023 年 6 月 21 日

中嶋 秀樹

霞ヶ浦画像 WEB セミナー 教育講演

「認知症の病態、診断、治療について」

日本メジフィジックス株式会社（土浦市, web）2023 年 9 月 26 日

中嶋 秀樹

牛久市医師会学術講演会 特別講演

「牛久市周辺における認知症診療について」

牛久市医師会, 興和株式会社（牛久市, web）2024 年 2 月 20 日

8. リウマチ膠原病内科

部長 野村 篤史

今年度は常勤が1名加わり3名体制となったことにより、入院・外来ともに診療の質を上げることができた。近隣医療機関からより多くの症例を受け入れることができるようになり、重症例にも対応できるようになった。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	野村 篤史	2022.4.1 ~	常勤	金沢大学	2005 年
医員	福栄 亮介	2023.4.1 ~	常勤	東京慈恵会医科大学	2013 年
医員	田内 榮子	2022.4.1 ~	常勤	東海大学	2003 年
	南家 由紀	2005.5.14 ~	非常勤	東京女子医科大学	1989 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
通院患者数	869
初診患者数	286
疾患別	
関節リウマチ	362
結晶誘発性関節炎（痛風、CPPD 関節炎）	78
骨粗鬆症	39
シェーグレン症候群	44
全身性強皮症	27
全身性エリテマトーデス	27
脊椎関節炎（乾癬性関節炎、強直性脊椎炎、掌蹠膿疱症性関節炎など）	17
リウマチ性多発筋痛症	42
慢性疲労症候群、線維筋痛症	30
血管炎（ANCA 関連血管炎、巨細胞性動脈炎など）	13
自己抗体陽性	31
その他関節障害	58
その他	104

○研究実績

※氏名記述 共同研究に他施設所属者が入っている場合、当院所属者にアンダーラインを付しております。

<学会発表>

野村篤史、岩田太志、浅野貴大、ほか

生物学的製剤の使用により寛解した HDR 症候群合併の膿疱性乾癬と乾癬性関節炎の 1 例

第 67 回日本リウマチ学会総会・学術集会 2023 年 4 月 24 日～26 日 福岡

宮越歩、野村篤史、田内榮子、藤縄学、永江美香子

両下腿の動脈閉塞様の症状を呈した皮膚動脈炎(CA)の 1 例

日本内科学会 第 686 回関東地方会

9. 小児科

部長 稲見 由紀子

小児科では2023年度、外来診療を中心に一般外来と専門外来（小児腎臓、小児アレルギー、小児循環器、小児心理、小児免疫、小児神経）の体制で診療を行った。

小児アレルギーの専門外来では、乳児を含む食物アレルギー症例に対して経口負荷試験を行い、適切な時期に摂取制限解除を行っていくことの周知が進み、近隣の医療機関から紹介をいただいた。これに伴い経口負荷試験件数が増加した。またアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法について積極的に導入を行った。

小児腎臓外来では学校検尿異常などの精査症例についての紹介をうけて診療をおこなった。また、牛久市学校検診の心電図検診、集団・個別の乳児検診を担当した。

予防接種、乳児検診については通常診療と時間帯を分け、感染リスクを避ける状況で実施した。

新型コロナ感染症が2023年5月から五類感染症となり、小児では発熱、感染性疾患が多いことから、小児科では発熱外来でなく通常診療の枠内での対応を再開した。待合の場所を分け動線分離での感染対策をしっかりと取ること、安全に混乱なく診療を行うことが出来た。新型コロナ感染症は幸いに小児では軽症例が多く、そのほとんどが外来での診療で対応可能であった。

小児の新型コロナワクチンについては、牛久市からの要請を受け、11歳以下の小児にのべ929回の接種を市の協力を得て安全に実施することが出来た。市事業としての新型コロナワクチン接種は2023年3月で終了した。

入院診療は気管支喘息発作、肺炎、急性胃腸炎に伴う脱水、尿路感染症等の症例が中心となった。

次年度については、一般診療、各専門外来への紹介患者の検査や診療、ならびに入院診療について、地域の医療機関との連携を大切に更に充実した診療を行っていきたい。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	稲見 由紀子	2019.7.1 ~	常勤	佐賀医科大学	1996 年
医長	西村 尚美	2021.4.1 ~	常勤	筑波大学	2001 年
医員	西野 誠	2022.4.1 ~	常勤	筑波大学	2009 年
	小野寺 雅史	1998.6.1 ~	非常勤	北海道大学	1986 年
	成田 奈緒子	2003.6.12 ~	非常勤	神戸大学	1987 年
	大津 真	2003.4.5 ~	非常勤	北海道大学	1989 年
	南波 広行	2010.4.13 ~	非常勤	東京慈恵会医科大学	1997 年
	大場 温子	2019.4.4 ~	非常勤	東京女子医科大学	2005 年
	伊藤 陽子	2011.2.1 ~	非常勤	北里大学	1997 年
	野村 莉紗	2020.4.4 ~	非常勤	東京医科歯科大学	2008 年
	櫻井 牧人	2021.4.12 ~	非常勤	東京医科歯科大学	2008 年
	安藤 達也	2021.7.2 ~	非常勤	東京慈恵会医科大学	1998 年

○診療実績

項 目	件数
<外来>	
年間小児外来患者数	延 13,325 人
食物アレルギー 経口負荷試験	33 件
舌下免疫療法 新規導入	14 例

<入院> 29例 年齢分布；3か月から14歳	
病 名	症例数
気管支喘息 喘息性気管支炎	9
急性気管支炎・肺炎	9
急性上気道炎 ・インフルエンザ	2
細菌性/ウイルス性胃腸炎	2
ケトン性低血糖症	3
尿路感染症	1
ネフローゼ症候群	1
化膿性リンパ節炎	1
その他；舌外傷	1

予 防 接 種 (2023.4.1～2024.3.31)	件数
アクトヒブR (インフルエンザ桿菌)	95
肺炎球菌	76
小児肺炎球菌	94
四種混合	104
B型肝炎	66
ロタウイルス	36
BCG	25
MR (麻疹、風疹)	102
ムンプス (流行性耳下腺炎：おたふく風邪)	87
水痘 (水ぼうそう)	62
日本脳炎	195
二種混合	58
子宮頸がん	59
小児インフルエンザ	577
合 計	1,636

乳児健診	34
------	----

○研究実績

※氏名記述 共同研究に他施設所属者が入っている場合、当院所属者にアンダーラインを付しております。

<学会発表>

Nishino M, Yanagida N, Sato S, Nagao M, Oshima Y, Ito K, Ebisawa M.

Randomized Trial of Preventing Complete Avoidance in Challenge-proven Egg-allergic Infants. American Academy of Allergy Asthma and Immunology Annual Meeting. Washington DC, Feb. 23-25, 2024.

10. 整形外科

顧問 梅原 新英

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
顧問	梅原 新英	1997.12.1 ~	常勤	弘前大学	1983 年
部長	谷口 浩人	2022.4.1 ~ 2024.3.31	常勤	山梨医科大学	1997 年
医長	神代 秀彬	2018.4.1 ~ 2024.3.31	常勤	聖マリアンナ医科大学	2011 年
医長	熊木 光貴	2021.4.1 ~ 2024.3.31	常勤	埼玉医科大学	2017 年
医員	小倉 龍樹	2023.4.1 ~ 2024.3.31	常勤	東海大学	2020 年
	篠崎 普久	2014.4.2 ~	非常勤	佐賀医科大学	2003 年
	香山 虎哲	2014.6.4 ~	非常勤	岩手医科大学	2001 年
	盛田 幹	2016.4.1 ~	非常勤	獨協医科大学	1997 年
	西田 雄介	2015.6.5 ~	非常勤	東邦大学	2008 年
	桑島 海人	2020.5.23 ~ 2024.3.23	非常勤	鹿児島大学	2006 年
	井上 知久	2022.4.5 ~ 2023.8.29	非常勤	九州大学	2007 年
	廣田 智也	2022.4.5 ~	非常勤	日本大学	2014 年
	田崎 正和	2022.4.14 ~ 2024.3.14	非常勤	聖マリアンナ医科大学	2006 年
	庄野 和	2022.4.28 ~ 2024.3.28	非常勤	香川大学	2001 年
	西野 直人	2022.10.6 ~ 2024.3.26	非常勤	佐賀大学	2017 年
	西田 悟	2023.5.12 ~ 2023.11.24	非常勤	福岡大学	2017 年
	久 桃子	2023.5.13 ~ 2024.3.9	非常勤	東京女子医科大学	2018 年
	國司 直史	2023.12.1 ~ 2024.3.29	非常勤	埼玉医科大学	1990 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
外傷	
四肢・骨盤骨折 (大腿骨近位部骨折) 骨折観血の手術 (大腿)	56
四肢・骨盤骨折 (大腿骨近位部骨折) 人工骨頭挿入術 (股)	73
四肢・骨盤骨折 (橈骨遠位部骨折) 骨折観血の手術 (前腕)	45
四肢・骨盤骨折 (上記以外) 骨折観血の手術、関節内骨折観血の手術	73
創外固定術	3
偽関節手術	2
関節脱臼 観血的整復術 非観血的整復術	22
腱断裂 (アキレス腱断裂含む) 腱縫合術、腱移行術 その他	6
小 計	280

疾病・術式・検査		件数
関節手術		
関節鏡下手術（膝関節）	半月板切除術・縫合術・靱帯形成術・滑膜切除	50
関節鏡下手術（膝関節）	靱帯断裂修復術	14
足関節手術	関節固定・外反母趾手術・偏平足手術・滑膜切除	4
関節授動術	（膝関節・肩関節）	1
変形性股関節症	人工股関節置換術・再置換術	36
変形性膝関節症	人工膝関節置換術・再置換術	30
変形性膝関節症	脛骨骨切り術・大腿骨骨切り術	2
変形性肩関節症		2
その他	骨内異物除去術など	7
小 計		146
脊椎手術		
頸椎手術	（頸椎症性脊髄症、頸椎椎間板ヘルニア、頸髄損傷など）椎弓形成術	4
腰部脊柱管狭窄症	椎弓切除術	2
腰部脊柱管狭窄症	脊椎固定術	3
腰椎椎間板ヘルニア	椎間板切除術	1
椎体骨折・偽関節	脊椎固定術	3
その他	骨内異物除去術など	2
小 計		15
その他		
手根管症候群	手根管開放術	6
骨内異物除去術		76
骨移植術		10
骨部分切除術		2
神経剥離術		2
骨折手術後など		26
骨折経皮的銅線刺入固定術		22
小 計		144
合 計		585

11. 脳神経外科

部長 新田 雅之

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	新田 雅之	2023.4.1 ~	常勤	熊本大学	1994 年
医長	阿部 圭市	2023.3.1 ~	常勤	大阪医科大学	2005 年
	郡山 峻一	2021.4.6 ~	非常勤	京都府立医科大学	2011 年
	呂 聞東	2022.10.6 ~	非常勤	東北大学	2015 年

○診療実績

疾病・術式・検査		件数
脳腫瘍	開頭摘出術	14
脳血管障害	破裂脳動脈瘤	13
	未破裂脳動脈瘤	3
	頸部内頸動脈ステント留置術	4
	高血圧性脳内出血	2
	血栓回収術	3
外傷	急性硬膜外血腫	1
	急性硬膜下血腫	7
	慢性硬膜下血腫	43
水頭症	脳室シャント術	11
その他		36
合 計		137

12. 外科

部長 野口 岳春

2023 年 4 月から 2024 年 3 月までの手術症例数は 234 例で腹腔鏡手術は 127 例行っています。2021 年度手術症例数が 313 例、2022 年度手術症例数が 275 例である事を考慮すると全体の外科手術件数はかなり減少しました。2023 年 1 月から外科常勤医師が 2 人となりマンパワー不足が否めない状況です。2 人ではできる事に限りもありますが、可能な限りの診療および外科治療を行っていきたいと思っております。乳腺甲状腺疾患は 17 症例手術を施行しており非常勤医師の八代先生、野口英一郎先生に勤務し応援して頂いています。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
院長	瀬下 明良	2020.4.1 ~	常勤	信州大学	1979 年
部長	野口 岳春	2018.4.1 ~	常勤	山梨医科大学	2000 年
部長	藤田 俊広	2009.4.1 ~	常勤	北海道大学	2002 年
	宮本 玲奈	2022.4.4 ~	非常勤	和歌山県立医科大学	2004 年
	川崎 圭史	2023.10.4 ~	非常勤	福井大学	2010 年
	曾我 直弘	2018.4.6 ~ 2024.3.22	非常勤	山梨医科大学	1992 年
*乳腺	野口 英一郎	2023.4.4 ~	非常勤	山口大学	2000 年
*内分泌	八代 亨	1995.1.28 ~	非常勤	横浜市立大学	1977 年
*内分泌	堀内 喜代美	2015.11.5 2023.9.21	非常勤	東京女子医科大学	1992 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
胃	9
胃癌 幽門側胃切除	5
胃癌 胃全摘術	2
胃癌 噴門側胃切除	2
小腸	16
小腸瘻閉鎖	1
腸閉塞 開腹イレウス解除術	6
腸閉塞 腹腔鏡下イレウス解除術	9
虫垂	23
急性虫垂炎 腹腔鏡下虫垂切除術	22
急性虫垂炎 腹腔鏡下回盲部切除	1
大腸	28
結腸癌 開腹結腸切除	2
結腸癌 腹腔鏡補助下結腸切除	21
直腸癌 開腹直腸切除	2
S 状結腸軸捻転 結腸切除術	1

人工肛門	5
結腸癌 腹腔鏡下人工肛門造設術	1
回腸人工肛門閉鎖術	1
大腸人工肛門閉鎖術	3
肛門	4
痔核 結紮切除術	4
穿孔、穿通および腹膜炎	7
十二指腸潰瘍穿孔 穿孔部閉鎖大網被覆術	2
良性大腸穿孔 結腸切除術	2
良性大腸穿孔 腹腔鏡下結腸人工肛門造設	2
悪性リンパ腫 結腸切除術	1
肝臓	1
肝嚢胞 腹腔鏡下肝嚢胞開窓術	1
胆道	60
胆嚢結石症（胆嚢炎） 開腹胆嚢摘出術	6
胆嚢結石症（胆嚢炎） 腹腔鏡下胆嚢摘出術	53
胆嚢癌 開腹胆嚢摘出＋肝門部リンパ節郭清術	1
ヘルニア	47
鼠経ヘルニア 前方アプローチによる根治術	23
鼠経ヘルニア 腹腔鏡による根治術	13
大腿ヘルニア 根治術	7
腹壁癒痕ヘルニア 根治術	3
臍ヘルニア 根治術	1
乳腺	7
乳癌 乳房切除	5
乳癌 乳房部分切除	2
甲状腺	10
甲状腺腫瘍 全摘術	3
甲状腺腫瘍 右または左葉切除術	6
副甲状腺機能亢進症 摘出術	1
体表	12
リンパ節腫脹 リンパ節生検	9
皮下埋め込み型カテーテル挿入	3
その他	5
気管切開	4
腸間膜腫瘍 腹腔鏡下腸間膜腫瘍切除術	1
合 計	234

13. 血管内治療科

部長 瀧澤 玲央

血管内治療科は 2024 年 4 月から常勤医 2 名、土曜日に非常勤医 1 名の体制で放射線科と連携し診療業務にあたっており、2024 年 1 月より腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療(EVAR)を開始致しました。

当科の治療になる血管病変の多くは、腎臓内科の透析患者様のブラッドアクセス症例が多く、近隣の透析施設様からも多くのご紹介を頂いております。

今後、より多くの患者様に貢献できるよう血管造影室の増築も予定されております。それに伴い、躯幹部・四肢の血管内治療やガイド下生検、ドレナージ等、他科との連携を図り院内においての治療の幅を増やしていきたいと考えております。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	瀧澤 玲央	2023.4.1 ~	常勤	東京慈恵会医科大学	2007 年
	林 祐次郎	2022.5.26 ~ 2023.6.30	非常勤	東京慈恵会医科大学	2010 年
	関本 康人	2016.6.11 ~	非常勤	慶応義塾大学	2005 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
経皮的シャント造影(拡張術)	162
躯幹部、下肢血管造影(拡張、塞栓術)	37
下肢静脈瘤血管内焼灼術	52
ステントグラフト内挿術	5
合 計	256

○研究実績

※氏名記述	共同研究に他施設所属者が入っている場合、当院所属者にアンダーラインを付しております。
-------	--

<学会発表>

瀧澤 玲央、山添 真治、増田 耕一、宗友 洋平、渡邊 大茂、真島 静、西尾 千智、川口 裕生、塩屋 沙季、南部 光鋭、竹山 英里奈、植田 由衣、和田 啓伸、田中 達也、黒住 献、吉岡 直紀

「下肢静脈治療における疼痛緩和を目的とした VR デバイスの使用 1 例報告」

第 22 回日本 VR 医学会学術大会 2023 年 8 月 26 日

14. 眼科

医長 井上 友輔

外来にて眼科疾患全般を診ています。現在常勤医 2 名体制となっております。手術については白内障手術をはじめ、網膜硝子体手術、緑内障手術、涙道手術、外眼部手術などを行っております。水曜日と金曜日の午前中は手術日ですが、水曜日は前任の矢部美香子医師が外来診療を行っております。よりスムーズな外来に努め、できるだけ多くの手術治療が行えるよう力を注いでいきたいと考えております。関連病院とも連携させていただき、地域医療の役に立てるよう出来るだけ精進していきたいと思っております。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
医長	井上 友輔	2022.4.1 ~	常勤	東京医科大学	2012 年
	山下 舞伊子	2022.4.1 ~	常勤	山形大学	2019 年
	矢部 美香子	2022.4.6 ~	非常勤	福井医科大学	1999 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(その他のもの)	412
水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合)(縫着レンズを挿入するもの)	1
水晶体再建術(眼内レンズを挿入しない場合)	2
水晶体嚢拡張リング使用加算(水晶体再建術)	25
硝子体茎頭顕微鏡下離断術(網膜付着組織を含むもの)	22
硝子体茎頭顕微鏡下離断術(その他のもの)	6
硝子体切除術	1
網膜光凝固術(その他特殊なもの)	40
網膜光凝固術(通常のもの)	2
緑内障手術(濾過手術)	1
緑内障手術(流出路再建術)(眼内法)	2
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	46
涙管チューブ挿入術(涙道内視鏡を用いるもの)	22
涙嚢鼻腔吻合術	1
涙点プラグ挿入術	1
眼瞼下垂症手術(眼瞼挙筋前転法)	16
眼瞼下垂症手術(その他のもの)	12
眼瞼内反症手術(皮膚切開法)	6
眼瞼内反症手術(眼瞼下制筋前転法)	6
結膜下異物除去術	1

結膜結石除去術(少数のもの(1眼ごと))	2
結膜嚢部分形成術(部分形成)	5
結膜縫合術	3
角膜・強膜異物除去術	7
前房、虹彩内異物除去術	1
虹彩整復・瞳孔形成術	1
翼状片手術(弁の移植を要するもの)	3
霰粒腫摘出術	2
麦粒腫切開術	1
睫毛電気分解術(毛根破壊)	1
合 計	651

15. 皮膚科

部長 永江 美香子

コロナ渦でややレーザー脱毛、切除の件数が減ったものの、ほぼ例年通り受診数でした。生物学的製剤の導入は増加していますが、治療達成による終了や治療脱落も増加しました。今後も重篤な副作用に注意しながら生物学的製剤や JAK 阻害薬などの導入を増やしていく予定です。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	永江 美香子	2019.4.1 ～	常勤	筑波大学	2001 年
医員	萩原 佐恵子	2018.4.1 ～	常勤	獨協医科大学	2007 年
	河島 智子	2018.7.2 ～	非常勤	筑波大学	1986 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
レーザー脱毛	18
皮膚生検	56
皮膚，皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 未満）	27
皮膚切開術（長径 10 cm 未満）	102
合 計	203

16. 形成外科

部長 平野 由美

外傷、皮膚皮下腫瘍の切除を主に行っています。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	平野 由美	2017.1.1 ~	常勤	東京女子医科大学	2002 年
	櫻井 裕之	2004.8.21 ~	非常勤	愛媛大学	1986 年
	井砂 司	2017.4.3 ~	非常勤	浜松医科大学	1982 年
	高橋 元	2013.4.1 ~	非常勤	日本大学	1974 年
	飯塚 千佳	2021.4.8 ~ 2024.3.28	非常勤	東京女子医科大学	2019 年

○診療実績

※ 前年度のデータは間違いです。大変申し訳ございませんでした。入院、外来手術を合わせて大体年間 300~350 例です。

疾病・術式・検査（2023 年度）	件数
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 未満）	69
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 2 cm 以上、4 cm 未満）	24
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）（長径 4 cm 以上）	7
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm 未満）	52
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 3 cm 以上、6 cm 未満）	19
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 6 cm 以上、12 cm 未満）	11
皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）（長径 12 cm 以上）	3
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部）	9
皮膚、皮下、粘膜下血管腫摘出術（露出部以外）	0
皮膚悪性腫瘍切除術（単純切除）	7
瘢痕拘縮形成手術（顔面）	4
瘢痕拘縮形成手術（その他）	0
鼻骨骨折整復固定術	13
頬骨骨折観血的整復固定術	4
皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術	5
全層植皮術	3
分層植皮術	2
眼瞼内反症手術（逆さまつげ）	2
眼瞼下垂症手術（眼瞼挙筋前転法）	5
眼瞼下垂症手術（その他のもの）	3

疾病・術式・検査（2023 年度）	件数
四肢・軀幹軟部腫瘍摘出術	9
ガングリオン摘出術（粘液嚢腫、ヒグローム含む）	12
神経腫切除	1
耳介腫瘍摘出術	11
遊離皮弁術	1
陥入爪手術	14
下肢静脈瘤切除術（フレベクトミー）	3
入院局所陰圧閉鎖処置	1
動脈（皮）弁術、筋（皮）弁術	1
腱縫合術	3
その他	28
合 計	326

17. 泌尿器科

医長 俵 聡

2024 年より尿路結石用レーザー（ホルミウム；ヤグ レーザー）システムおよび、前立腺肥大症への蒸散術レーザー（ダイオードレーザー）システムを導入し手術を開始しました。また、当科で排尿ケアチームを結成し活動を開始しました。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
医長	俵 聡	2021.4.1 ～	常勤	日本大学	2012 年
	瀬川 晋	2018.1.17 ～	非常勤	岩手医科大学	1981 年
	下村 達也	2019.7.4 ～	非常勤	東京慈恵会医科大学	1997 年
	安江 圭史	2022.4.4 ～ 2023.6.26	非常勤	東京慈恵会医科大学	2012 年
	濱田 和希	2022.4.1 ～ 2024.3.29	非常勤	三重大学	2015 年
	黄 鼎文	2022.4.6 ～	非常勤	筑波大学	2008 年
	柳橋 亮太	2023.4.5 ～	非常勤	福島県立医科大学	2016 年
	久金 陽	2023.7.3 ～	非常勤	東京慈恵会医科大学	2013 年
	池田 篤史	2021.1.14 ～	非常勤	筑波大学	2006 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
前立腺針生検	68
経尿道的前立腺切除術	3
接触式レーザー前立腺蒸散術	14
経尿道的前立腺吊上術	5
経尿道の膀胱腫瘍切除（TUR-Bt）	24
経皮的膀胱瘻造設術	2
膀胱結石摘除術	6
経尿道の電気凝固止血術	2
経尿道の尿管ステント留置術	58
経尿道の尿路結石除去術（尿管結石）	5
経尿道の尿路結石除去術（膀胱結石）	6
逆行性腎盂造影	10
経皮的腎瘻造設術	5
尿管鏡検査	2
陰嚢水腫根治術	1
腎生検	2
真性包茎術	3
腹腔鏡下膀胱脱手術(LSC)	45

尿失禁手術（TVT スリング）	7
尿失禁手術（TOT スリング）	5
膀胱水圧拡張術	7
経尿道的電気凝固術	2
尿道ステント留置術	2
経皮的ドレナージ	2
その他	7
合 計	293

○研究実績

<学会発表>

俵 聡、黄 鼎文、池田 篤史

「当院における腹腔鏡下仙骨脛固定術の初期成績」

第 25 回日本女性骨盤底医学会学術集会 2023 年 8 月 5 日-8 月 6 日

俵 聡

「気腫性変化を有する感染性腎嚢胞の 1 例」

第 126 回日本泌尿器科学会茨城地方会 2023 年 6 月 17 日

18. 耳鼻咽喉科

医長 中村 祐子

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
医長	中村 祐子	2015.4.1 ~	常勤	浜松医科大学	2008 年
	西山 信宏	2013.7.3 ~	非常勤	東京医科大学	1995 年
	結束 寿	2018.10.1 ~	非常勤	東京慈恵会医科大学	2008 年
	林 健太郎	2020.4.2 ~	非常勤	筑波大学	2003 年
	井上 みどり	2023.4.7 ~ 2023.10.27	非常勤	千葉大学	2005 年
	井上 剛志	2023.11.10 ~ 2024.3.22	非常勤	東京医科歯科大学	2012 年
	大久保 航大	2023.12.16 ~	非常勤	東京医科歯科大学	2021 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
扁桃周囲膿瘍切開術	5
鼓膜切開術	38
鼻内異物摘出術	1
鼻中隔矯正術	8
鼻甲介切除術	7
咽頭異物摘出術	15
副鼻腔手術	40
鼓室形成術	2
副鼻腔粘膜焼灼術	54
唾石摘出術	4
唾石摘出術	5
その他	46
合 計	225

19. 歯科口腔外科

部長 河地 誉

歯科口腔外科では、常勤医 3 名、非常勤医 1 名、歯科衛生士 3 名の体制で、診療を行っています。対象とする疾患は、主に口腔外科・口腔内科疾患です。最近では、大学と連携を行い、骨格的な変形に対する外科的矯正治療を開始しました。齲蝕や歯周病などの一般歯科診療は、緊急の場合を除き、連携登録歯科医院に紹介を行っています。また、循環器系疾患や抗凝固薬など多剤内服されている患者さんは、入院管理下に全身状態を厳重に管理しながら、処置を行う場合があります。

院内では各委員会(NST、RST など)において、口腔の観点から患者健康増進に寄与するよう各職種との連携を行っています。また、消化器領域、呼吸器領域の悪性腫瘍の術前、人工関節置換、脳卒中中の手術の術前、また化学療法、緩和ケアの方を対象として、誤嚥性肺炎などの合併症予防、経口摂取の早期開始また入院期間の短縮のため、周術期口腔機能管理を行っています。

院外においては、地域の基幹病院として、近隣の診療所等の後方支援を行う二次医療機関としての責務を果たすべく、円滑な医療連携を行っています。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	河地 誉	2020.4.1 ~	常勤	東京歯科大学	2005 年
医員	池田 琴子	2020.4.1 ~	常勤	日本歯科大学	2014 年
医員	杉浦 貴則	2022.4.1 ~	常勤	東京歯科大学	2016 年
	佐藤 美樹	2009.1.16 ~	非常勤	日本歯科大学	1992 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
[1] 全身麻酔における手術	計 178
抜歯術	98
顎骨腫瘍摘出術	45
口腔外消炎手術	2
唾石摘出術	1
顎顔面外傷関連手術(骨折、異物除去など)	6
前癌病変手術	6
顎変形症手術	1
その他	19
[2] 短期入院症例	計 55
抜歯術	43
その他	12
[3] 周術期口腔機能管理	計 159
外科、整形外科、内科からの依頼など	

○研究実績

※氏名記述 共同研究に他施設所属者が入っている場合、当院所属者にアンダーラインを付しております。

<学会発表>

河地 誉, 秋場孝則, 高橋満里子, 深谷沙織, 渡部真由美, 小林英理, 杉浦貴則, 今井琴子, 佐藤美樹

「牛久愛和総合病院薬剤師の口腔ケアに関する意識調査」

第 20 回 日本口腔ケア学会総会・学術大会 (2023 年 4 月 20-21 日)

河地 誉, 杉浦貴則, 今井琴子

「20 年以上オトガイ部に滞留していた外傷性異物の 1 例」

第 77 回 日本口腔科学会学術集会 (2023 年 5 月 11-13 日)

杉浦貴則, 野村 武, 亀山昭彦

ホルマリン固定パラフィン包埋検体からヒドロキシルアミンを用いて抽出したムチンの分子マトリックス電気泳動を用いた糖鎖解析

第 74 回日本電気泳動学会学術大会 (2023 年 5 月 18-20 日)

今井琴子、染谷早紀、坂本和花、松本佳之、橋本由美、杉浦貴則、河地 誉、阿部伸一

「喉頭蓋の形態における誤嚥リスクとの関連性の検討」

第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 (2023 年 9 月 2 日-3 日)

杉浦貴則, 今井琴子, 河地 誉

「牛久愛和総合病院における食品が原因と考えられた窒息事例の検討」

第 36 回 日本口腔診断学会 (2023 年 9 月 22-24 日)

河地 誉

「牛久愛和総合病院歯科口腔外科の変革」

第 68 回 日本口腔外科学会総会・学術大会 病院歯科シンポジウム (2023 年 11 月 10-12 日)

20. 放射線科（I V R）・読影センター

部長 山添 真治

放射線科は2023年4月から常勤医5名、木曜日に非常勤医1名の体制となりました。主な業務はCTやMRI及び一般撮影等を読影しており、放射線診断専門医による質の高い診断を心掛けております。撮影方法は基本的には決まったものを撮影致しますが、ご相談頂いた症例に関しては必要に応じて追加撮影を行い、他科との連携の強化に努めております。

また、読影センターの併設により他の医療機関の読影も行っており、院外から依頼された撮影及び読影において丁寧な対応を心掛け、画像診断を通して地域医療に貢献出来ればと考えております。

当科ではI V R専門医による画像下治療も行っており、躯幹部・四肢の血管内治療やガイド下生検並びにドレナージ等、治療分野も積極的に行っております。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	山添 真治	2022.1.1 ～	常勤	東京慈恵会医科大学	2005 年
医長	増田 耕一	2023.4.1 ～	常勤	東京慈恵会医科大学	2011 年
医長	宗友 洋平	2023.4.1 ～	常勤	東京慈恵会医科大学	2013 年
医員	山本 鋭仁	2020.5.1 ～	常勤	東京医科歯科大学	1992 年
医員	永野 敦子	2020.3.16	常勤	名古屋大学	1993 年
	石黒 聡尚	2015.4.2	非常勤	東京大学	2009 年

○診療実績

疾病・術式・検査	件数
診療業務	
経皮的シャント造影(拡張術)	162
躯幹部、下肢血管造影(拡張、塞栓術)	37
合 計	199
読影業務	
一般撮影	541
マンモグラフィー	1,894
C T	13,629
M R I	6,491
合 計	22,555

○研究実績

※氏名記述 共同研究に他施設所属者が入っている場合、当院所属者にアンダーラインを付しております。

<学会発表>

山添 真治、増田 耕一、山本 賢司、太田 智行

「超音波検査にて移植腎に生じた仮性動脈瘤・動静脈瘤を診断し治療した1例」

日本超音波医学会 第96回学術集会 2023年5月28日

21. 麻酔科

部長 古謝 宏樹

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	古謝 宏樹	2014.4.1 ～	常勤	琉球大学	1995 年
医長	板倉 美千代	2005.5.9 ～	常勤	獨協医科大学	1996 年
医長	鈴木 あや	2007.4.1 ～	常勤	富山医科薬科大学	2001 年

○診療実績

麻酔施行件数	件数
全身麻酔症例	
外科	223
整形外科	464
歯科・口腔外科	177
脳神経外科	63
救急医療科	7
形成外科	105
耳鼻咽喉科	44
内分泌科	11
泌尿器科	201
眼科	4
血管内治療科	3
静脈麻酔症例	
整形外科	—
形成外科	—
脊髄クモ膜下麻酔症例	
泌尿器科	2
整形外科	—
外科	1
脊髄クモ膜下硬膜外併用麻酔症例	
整形外科	—
外科	—
伝達麻酔症例	
整形外科	1
形成外科	1
合 計	1,307

22. 救急医療科

部長 兼 救急・外傷センター長 佐藤 孝幸

救急医療科は2019年5月に開設され、以降救急専門医を含む5名（常勤医2名）にて、地域救急医療の発展に尽力してまいりました。2021年4月より筑波大学より後期救急専攻医の派遣により、救急医療体制の拡充を図ることが出来、さらに、2022年7月からは矢口医師が赴任し、常勤医3名体制となり、益々充実したスタッフ体制となりました。開設された2019年度は3,304台と多くの救急搬送数に至りましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響から不要不急の地域救急要請患者数が減り、2021年度は計2,858台と2020年度と比較し、ほぼ横ばいではありました。しかしながら2022年度は3,313台と増加傾向にあり、新型コロナ感染症が落ち着いた2023年度は3,883台と過去最高の救急搬送数に至りました。

搬送患者の内訳としては、重症疾患搬送患者が依然として多く、搬送後、緊急入院となる患者は1,598人（41.2%）と約4割を占めております。年齢別には65歳以上の高齢者の搬送が大半を占め、80歳を越える超高齢者の搬送も目立っております。疾患別では、事故、外傷などの外因性疾患に比べ、引き続き内因性疾患が優位となっております。

2022年5月より稲敷広域消防本部との協力の下、週3日（月・火・水）、ドクターカー事業を始めとした病院前救急の運用を開始致しました。初年度の依頼件数は52件に留まっておりますが、徐々に認知度が高まり、2023年度は65件の依頼がありました。依頼件数も上昇傾向にあります。ドクターカーの出動により、治療介入時間の短縮、救命率の向上が得られており、今後も益々充実した救急医療の提供が可能になると考えております。

当科での2023年度の手術件数は14件で、気胸手術、腹部手術、緊急外傷手術に至るまで多岐にわたっております。

2020年9月には災害拠点病院の認可があり、日本DMAT指定病院として、地域災害医療の中心をなすべく益々活動の場を広げております。日本DMATとして、関東ブロック研修（千葉県）、政府主催大規模災害医療活動訓練（香川県）にも積極的に参加してまいりました。また、第2隊目のDMAT隊員を確立することが出来、来るべき災害対策に備えてきました。2024年1月の能登半島沖地震の際には、1月5日～1月9日、2月1日～2月5日に当院の2隊のDMATが茨城県からの依頼により派遣し、現地活動を行ってまいりました。

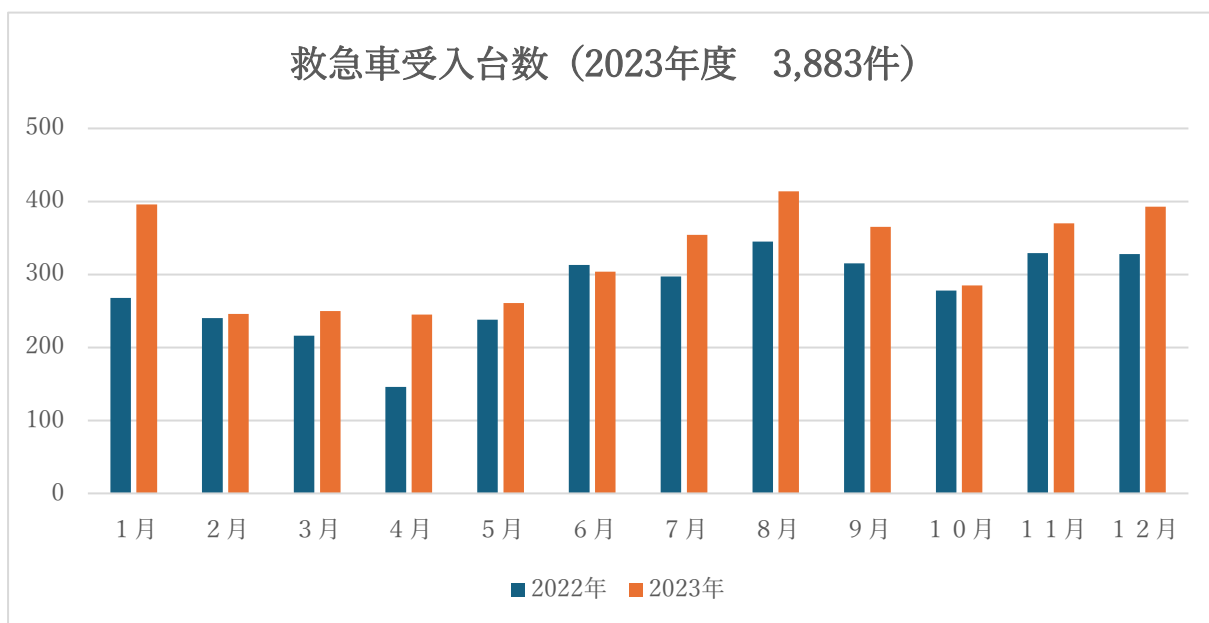
また、当科は2024年1月より日本救急医学会指導医施設として認定され、救急専攻医の教育にとどまらず、引き続き、稲敷地区メディカルコントロール協議会の教育研修施設となっており、救急地域災害の対策と教育指導、救急救命士/救急隊員への病院前救護体制の実践的指示、検証、教育、レベルアップ研修、off the job training（ICLSコース、JPTECコース、MCLSコース）の開催などを通じて地域救急医療体制の向上にも努め、実践しております。

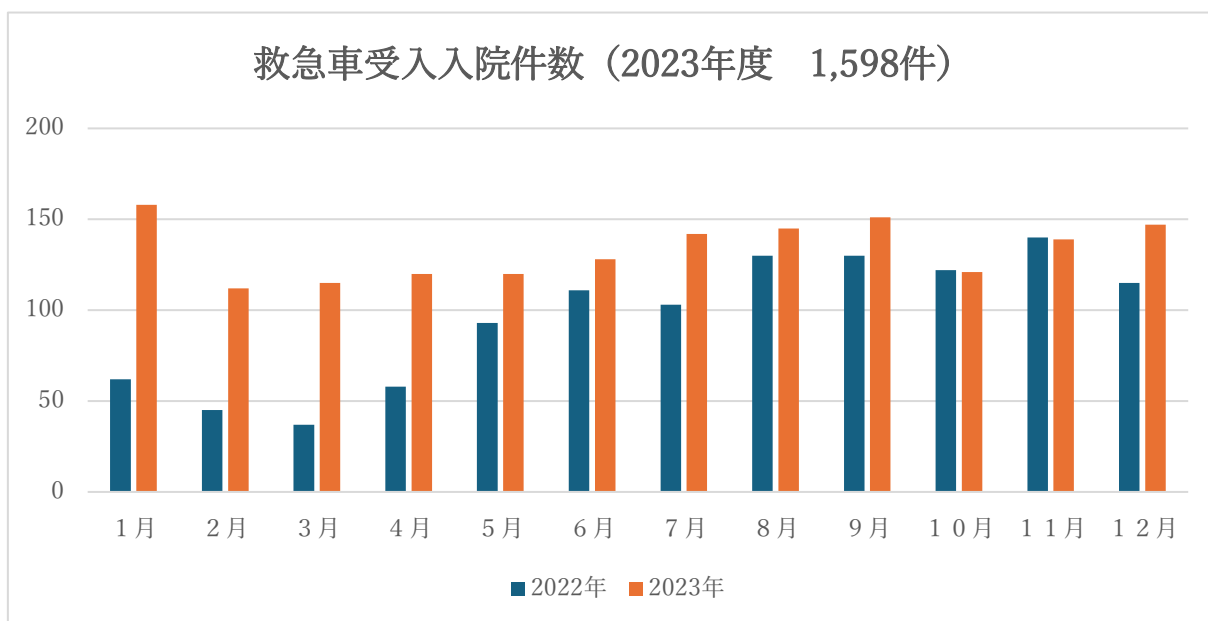
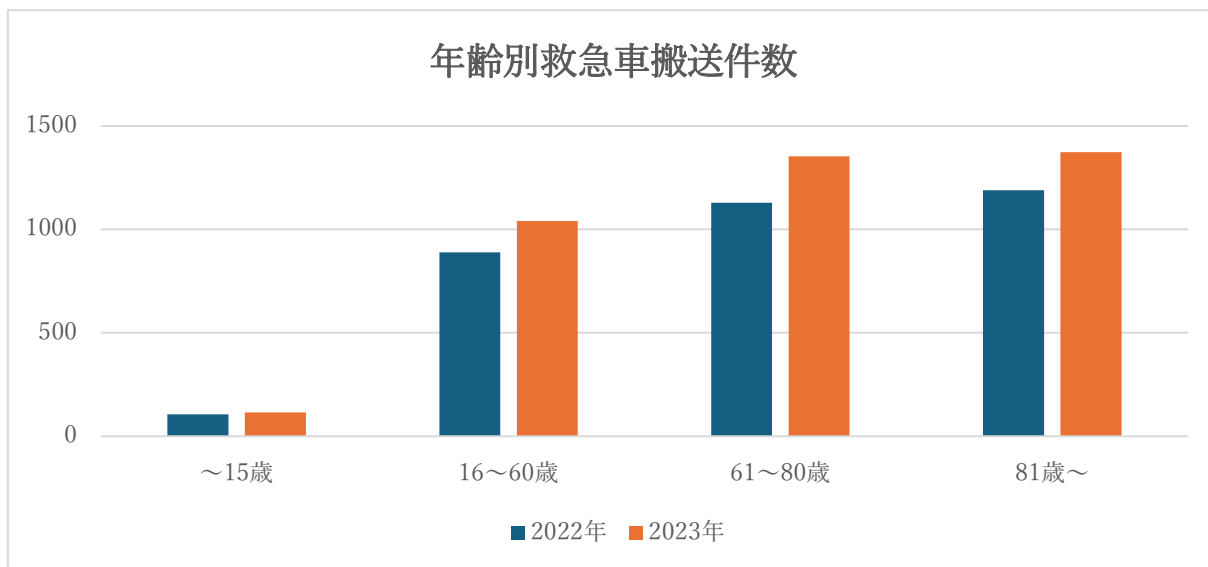
○診療体制

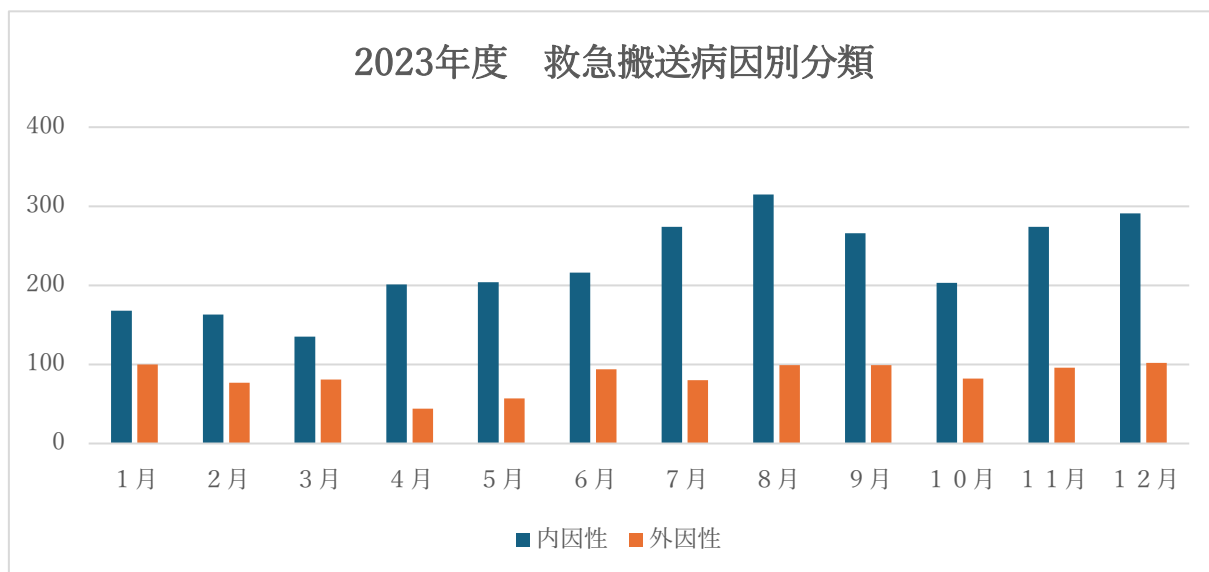
職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
部長	佐藤 孝幸	2019.5.1 ~	常勤	山口大学	2006 年
部長	出口 善純	2019.5.1 ~	常勤	奈良県立医科大学	1996 年
医長	矢口 慎也	2022.7.1 ~	常勤	弘前大学	2004 年
医員	藤澤 薫	2023.7.1 ~ 2023.12.31	常勤	福島県立医科大学	2020 年
	坂本 彩香	2021.10.9 ~	非常勤	筑波大学	2014 年
	李 礼真	2023.5.10 ~ 2023.9.27	非常勤	筑波大学	2021 年

○診療実績

手術術式	件数
気管切開術	6
気胸手術	4
汎発性腹膜炎手術	1
血腫除去術	1
イレウス解除術	1
筋肉内異物除去	1
合 計	14







ドクターカーチーム 救急センター前にて



ドクターカー出動



能登半島沖地震 牛久愛和総合病院 DMAT 第1次隊派遣



能登半島沖地震 牛久愛和総合病院 DMAT 第1次隊現地活動（公立能登総合病院）



能登半島沖地震 牛久愛和総合病院 DMAT 第2次隊派遣



能登半島沖地震 牛久愛和総合病院 DMAT 第2次隊現地活動（珠洲市総合病院）



能登半島沖地震 牛久愛和総合病院 DMAT 第2次隊現地活動（珠洲市総合病院）



ICLS プロバイダーコースより

○研究実績

※氏名記述 共同研究に他施設所属者が入っている場合、当院所属者にアンダーラインを付しております。

<学会発表>

岩崎 美樹、粉川 竜也、曾我 朝子、佐藤 真純、飯田 寛美、佐藤 孝幸、矢口 慎也

「ドクターカー運用の実績と課題」

第47回茨城救急医学会（Web） 口演 2023年9月9日

遠山 恵子、山添 真治、瀧澤 玲央、増田 耕一、宗友 洋平、佐藤 孝幸、岩淵 静夫、飯田 寛美

「血管内治療科と救急外来の連携と課題」

第47回茨城救急医学会（Web） 口演 2023年9月9日

佐藤 孝幸、出口 善純、矢口 慎也

「二次救急病院におけるドクターカーの運用開始と課題」

第51回日本救急医学会総会 ポスター 2023年11月30日

<学会座長> 特になし

<講演会>

矢口 慎也

茨城県 DIC 治療研究会 2023年6月13日

佐藤 孝幸、出口 善純

Septic DIC seminar in つくば 2023年9月30日

佐藤 孝幸

二次救急病院の実践敗血症セミナー 2024年3月25日

<論文>

特になし

<執筆>

矢口 慎也

キサンチン誘導体中毒 「テオフィリン中毒・カフェイン中毒」

今日の治療指針 2024

<講義> 特になし

23. 総合健診センター

総合健診センター 部長 林 達弘

上部消化管内視鏡検査に画像診断支援プログラムを採用しました。

血液検査で動脈硬化の程度、ひいては脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを推測する LOX-index を開始しました。最近話題の腸内フローラ検査も申し込みを受け付けております（外注のため事前申し込みが必要）。

○診療体制

職位	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
顧問	竹下 幹彦	2003.2.1 ~	常勤	金沢大学	1978 年
部長	林 達弘	1999.4.5 ~	常勤	信州大学	1989 年
医員	由本 光次	2016.4.1 ~	常勤	東京大学	1985 年
医員	佑井 クアンロン	2008.3.1 ~	常勤	長崎大学	2001 年
医員	中野 基一郎	2023.2.16 ~	常勤	徳島大学	1997 年
	相野谷 陽子	2020.11.28 ~	非常勤	富山大学	1995 年
	谷仲 由季	2021.7.17 ~	非常勤	獨協医科大学	2002 年
	阪口 志帆	2021.9.5.2 ~	非常勤	香川大学	2011 年
	渡辺 麻紀子	2022.4.19 ~ 2024.1.30	非常勤	筑波大学	2012 年
	須藤 れいな	2022.10.25 ~ 2023.6.13	非常勤	筑波大学	2016 年
	小畠 真奈	2020.4.1 ~	非常勤	筑波大学	1995 年
	大和田 悠樹	2023.3.4 ~	非常勤	秋田大学	2015 年
	池亀 翔	2024.3.21 ~	非常勤	杏林大学	2010 年

課長 岡野 英之

当健診センターでは病院理念の柱のひとつである「予防医療」に携わっており、健康異常の早期発見と健康維持に取り組んでおります。

病院併設の強みである 1. 診療部門との連携、2. 特定保健指導・厚生労働大臣認定健康増進施設「スポーツリラックス」無料運動体験、3. 専用フロアやエスコートによる案内など、総合的に健診を実施し、受診者様が満足していただける診療体制や予約枠の有効活用に取り組んだ。また、スタッフの意識改革にも取り組み業務の効率化にも取り組む事が出来ました。

今後も受診者様のご要望に応えられるよう診療体制の充実と顧客満足度を上げれるよう全スタッフが一丸となり健診事業に積極的に取り組んでいきます。

○業務実績

各種健診利用者数	件数
人間ドック	
一泊ドック	8
日帰りドック	8,088
脳ドック	121
生活習慣病予防健診	3,662
健康診断（雇入・定期・その他）	4,224
特定健康診査	311
特定保健指導（積極的支援）	5
特定保健指導（動機付け支援）	13
外部健診（巡回）	8,950
合 計	25,382

市町村別受診数（院内）（単位：人）

県南	牛久市	4,586	県北	北茨城市	12	県西	常総市	161
	つくば市	2,335		ひたちなか市	11		下妻市	53
	土浦市	1,276		日立市	10		坂東市	53
	龍ヶ崎市	1,249		那珂市	9		筑西市	26
	阿見町	901		常陸大宮市	3		桜川市	18
	取手市	763		高萩市	2		八千代町	10
	稲敷市	511		常陸太田市	1		古河市	8
	つくばみらい市	372		水戸市	35		境町	5
	守谷市	239	県央	小美玉市	25	鹿行	潮来市	20
	美浦村	126		笠間市	13		行方市	16
	かすみがうら市	124		茨城町	2		神栖市	14
	石岡市	88		城里町	1		鹿嶋市	10
	利根町	84					鉾田市	6
	河内町	72				県外		417

オプション検査

(単位：人)

男性腫瘍マーカーセット (CEACA19-9、PSA)	1,368
女性腫瘍マーカーセット (CEACA19-9、CA125)	860
腫瘍マーカー検査 (CEA)	182
腫瘍マーカー検査 (CA19-9)	363
腫瘍マーカー検査 (PSA)	989
腫瘍マーカー検査 (CA125)	37
腫瘍マーカー検査 (AFP)	204
甲状腺検査 (TSH、FT4、FT3)	149
ピロリ菌抗体検査	273
アレルギー検査	80
胃がんリスク検査 (ABC 分類)	155
喀痰検査	23
頸動脈超音波検査	32
動脈硬化検査	574
乳腺超音波検査	1,649
子宮がん検査	1,859
上部消化管内視鏡検査	1,187
胸部マルチスライス CT 検査	87
腹部マルチスライス CT 検査	104
胸腹部マルチスライス CT 検査	158
頭部 MR 検査	369
頭頸部 MR 検査	163
マンモグラフィー検査	1,167
骨密度検査	764
ファットスキャン検査 (内臓脂肪)	63
LOX-index (脳梗塞、心筋梗塞リスク検査)	137
合 計	12,996

4. その他（内視鏡科・産婦人科・感染症科・リハビリテーション科）

○診療体制

診療科	氏名	勤務期間	勤務	出身大学	卒年
内視鏡科	梅田 絵里子	2006.7.26 ～	非常勤	東京女子医科大学	1997 年
〃	増田 俊夫	2006.7.26 ～	非常勤	信州大学	1992 年
〃	三輪 修嗣	2021.6.16 ～	非常勤	筑波大学	1991 年
〃	春木 茂男	2022.4.8 ～ 2024.3.29	非常勤	東京医科歯科大学	2001 年
〃	三浦 富之	2023.4.6 ～	非常勤	筑波大学	2011 年
〃	梅林 佑弥	2023.5.11 ～	非常勤	東京医科歯科大学	2013 年
産婦人科	藤村 正樹	2020.4.9 ～	非常勤	富山大学	1987 年
〃	斎藤 油香	2014.5.9 ～	非常勤	東京女子医科大学	1991 年
〃	二神 真行	2023.4.3 ～	非常勤	弘前大学	1996 年
〃	村上 楠奈	2023.4.4 ～	非常勤	東京医科大学	2017 年
感染症科	石川 和宏	2023.4.10 ～	非常勤	東京医科大学	2015 年
リハビリテーション科	青山 信隆	2016.9.1 ～	常勤	高知大学	2007 年
	俣木 優輝	2023.4.14 ～ 2024.3.22	非常勤	筑波大学	2006 年

○診療実績

内視鏡実績

単位：件

内視鏡	上部消化管（人間ドックを含む）	3,356
内視鏡	下部消化管（人間ドックを含む）	1,008
内視鏡	膵胆管造影（内視鏡的十二指腸乳頭切開術を含む）	79
経皮的内視鏡的胃瘻造設術		11
合 計		4,454